

# ツインアクセル (ブラジル国債&オーストラリア小型株式) 《2021-01》

&lt;5642&gt;

追加型投信／海外／資産複合

満期償還 2021年1月27日償還

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル国債およびオーストラリアの小型株式等に投資し、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	10,598円55銭
	純資産総額	1,816百万円
償還期	騰落率	8.3%

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

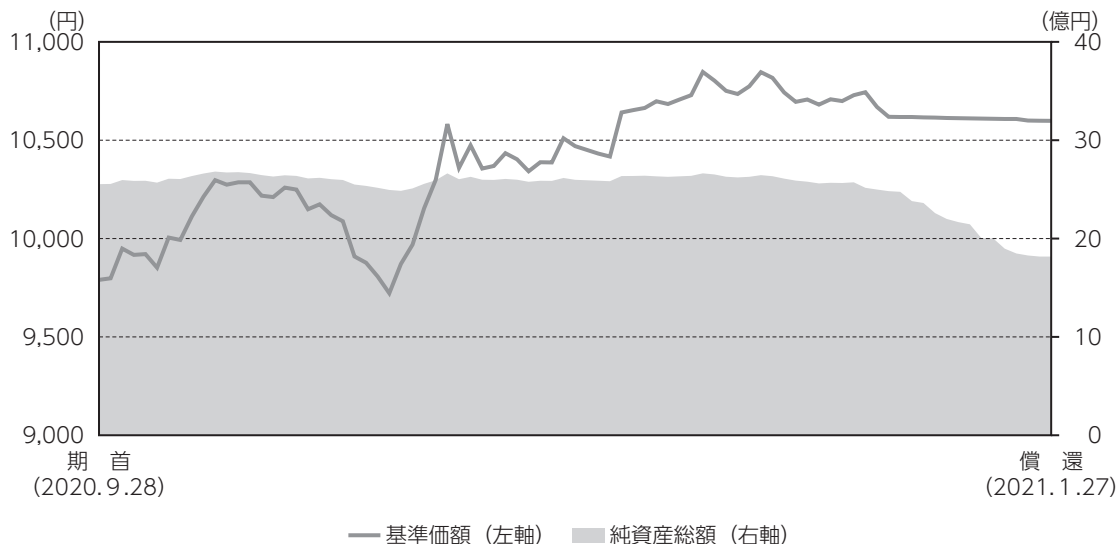
◇TKU0564220210127◇

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法  
上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,790円  
 償還時：10,598円55銭  
 騰落率：8.3%

#### ■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、豪ドルやブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したことやオーストラリア株式市況が上昇したことがプラス要因となり、上昇しました。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2020.9.29~2021.1.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	63円	0.609%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,417円です。
(投 信 会 社)	(31)	(0.299)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.292)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.018)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	2	0.017	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(2)	(0.016)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.032	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	69	0.658	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

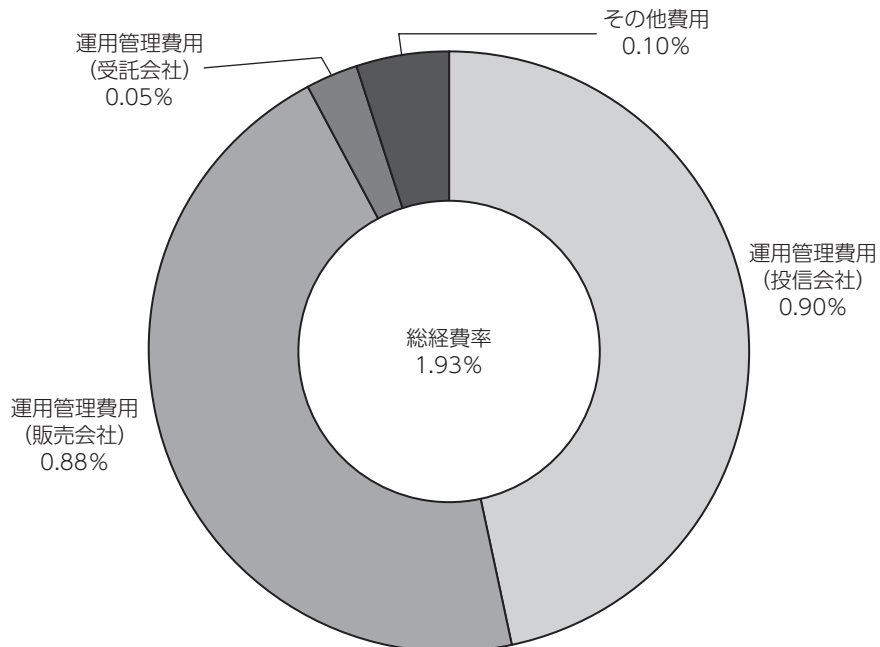
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。

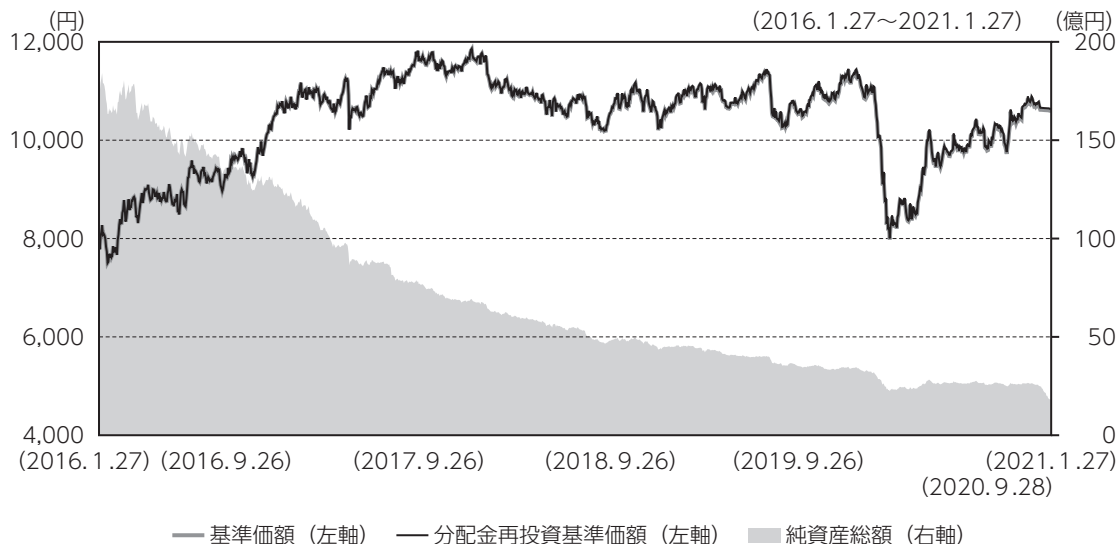


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

	2016年9月26日 期初	2017年9月26日 決算日	2018年9月26日 決算日	2019年9月26日 決算日	2020年9月28日 決算日	2021年1月27日 償還時
基準価額 (円)	9,256	11,600	10,542	10,548	9,790	10,598.55
分配金 (税込み) (円)	—	10	10	10	10	—
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	25.4	△9.0	0.2	△7.1	8.3
S & P / A S X 200指数 (円換算) 騰落率 (%)	—	20.4	0.9	△3.8	△9.2	23.9
ブラジル・リアル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	13.6	△21.5	△6.3	△27.1	2.3
純資産総額 (百万円)	13,470	7,682	4,808	3,512	2,553	1,816

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P / A S X 200指数 (円換算) およびブラジル・リアル為替レート (対円) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) S & P / A S X 200指数 (円換算) は、S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。S & P / A S X 200指数 (オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注6) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 設定以来の投資環境について

(2014.8.19~2021.1.27)

### ■ブラジル債券市況

ブラジル債券市況は、金利が低下（債券価格は上昇）しました。

ブラジル債券市況は、新興国全般に対する市場心理の悪化などを受け、金利は設定より上昇して始まりました。その後2015年にかけては、財政再建がテーマとなりました。政府と議会との対立によって追加増税法案の成立が遅延したことや緊縮財政に積極的な財務大臣が辞任するなど、財政懸念が高まった局面で金利は上昇しました。通貨安によるインフレ懸念の広がりも金利上昇要因となりました。2016年以降、金利は低下に転じました。財政再建への期待が高まったことやインフレ率の低下を背景に中央銀行が継続的に利下げを行ったことなどが低下要因でした。2018年は、新興国からの資金流出懸念を背景に金利は上昇しましたが、10月の大統領選挙でボルソナロ氏が勝利すると、新政権への期待感などから金利は低下しました。2019年半ば以降は、政府と議会の協力関係構築に向けた動きが見られ、年金改革への期待感が一段と高まる中で世界的に金融緩和観測が高まり、ブラジル中央銀行も利下げを再開したことを背景に、金利は一段と低下しました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで急激にリスク回避的な動きとなりましたが、ブラジル中央銀行を含む各国の金融当局が大規模な金融緩和策を実施したことは金利低下要因となりました。

### ■オーストラリア株式市況

オーストラリア株式市況は上昇しました。

オーストラリア株式市況は、設定から2016年半ばにかけて、原油や鉄鉱石価格の下落、また米国の利上げ時期を巡る不透明感などを受けて上値の重い展開が続きました。その後、いったんは上昇に転じましたが、米国の早期利上げ観測の再燃や中国の貿易統計が市場予想を下回ったことから下落し、2017年9月にかけてはボックス圏での推移となりました。2018年9月にかけては、米中貿易摩擦への懸念が後退したことやオーストラリアのGDP（国内総生産）が市場予想を上回ったことなどを受け、堅調に推移しました。2018年末にかけては、米中貿易摩擦を巡る動向や世界経済の減速への警戒感などから、世界的に株式市場が軟調となる中で下落基調となりました。2020年2月中旬にかけては、米中通商協議の進展期待やRBA（オーストラリア準備銀行）の緩和的な金融政策姿勢などが好感され、上昇基調で推移しました。その後は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済への影響が懸念されて急落しましたが、各国の政府や中央銀行による支援策や新型コロナウイルスのワクチンの開発期待などから反発するなど、変動の大きな展開となりました。

### ■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落（円高）しました。

ブラジル・レアルの対円為替相場は、設定から2015年2月にかけては対円でおおむね横ばいで推移しました。その後、ブラジル経済見通しの低迷やペトロブラスの汚職問題等により投資家心理が悪化したこと、米国の利上げ観測やギリシャ債務問題、また中国景気への懸念などが、新興国・資源国からの資金逃避の動きにつながったことなどから、レアルは対円で大幅に下落しました。しかし2016年3月

になると、原油価格が底打ちして株式市場が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだこと、ルセフ元大統領の弾劾手続きが進展して政権交代期待が高まったことで、レアルは上昇基調となりました。2018年に入ると、世界的な株価下落の中で市場参加者のリスク回避的な姿勢が強まったこと、国内の景気悪化懸念や政治の不透明感などがレアルの下落圧力となりました。2019年8月には、米中貿易摩擦が激化したことによって世界的にリスク回避の動きが強まり、レアルは売られました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大したことで金融市場が急激にリスク回避的な動きとなり、レアルは大きく売られました。

オーストラリア・ドルは対円で下落しました。

オーストラリア・ドルの対円為替相場は、設定から2016年半ばにかけて、原油や鉄鉱石を中心とした商品市況が下落したことやRBA（オーストラリア準備銀行）による利下げなどを受けて下落しました。2017年9月にかけては、米国の大統領選挙でトランプ氏が勝利したことを受けた市場のリスク選好の強まりや、オーストラリアの雇用者数の伸びが市場予想を上回る内容だったことなどが支援材料となり、上昇しました。その後は、原油価格の下落を受けたリスク回避姿勢の強まりや米国が中国製品に対する関税引き上げを表明したことによる米中貿易摩擦激化への懸念などを受け、下落基調となりました。また2020年2月には、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて急落しましたが、その後の各国の政府や中央銀行による支援策、新型コロナウイルスのワクチンの開発期待などから反発するなど、変動の大きな展開となりました。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>」と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」を通じて、ブラジル・レアル建てのブラジル国債およびオーストラリアの小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用します。

### ■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド<2021-01>

主として、ブラジル・レアル建てのブラジル国債に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。ブラジル国債への投資にあたっては、償還までの期間が当ファンドの信託期間に近い銘柄を中心とします。

### ■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

主として、オーストラリアの小型株式等に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、ニュージーランドの小型株式等にも投資します。外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2014.8.19~2021.1.27)

## ■当ファンド

「ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》」の受益証券と「ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド」の受益証券の合計の組入比率を信託財産の純資産総額の100%に近づけて運用しました。

## ■ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》

償還までの期間が当ファンドの信託期間に近いブラジル国債（クーポン10%、2021年1月償還）を保有しました。

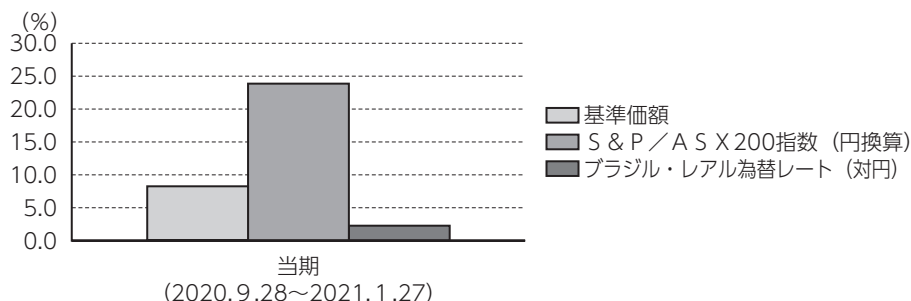
## ■ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、アバディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託し、主としてオーストラリアやニュージーランドの小型株式等のうち、強固なバランスシートを有し、中長期的に持続可能な収益成長が期待できる企業を重点的に組み入れました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期中における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。





## 分配金について

1万口当り、第1期～第6期各10円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

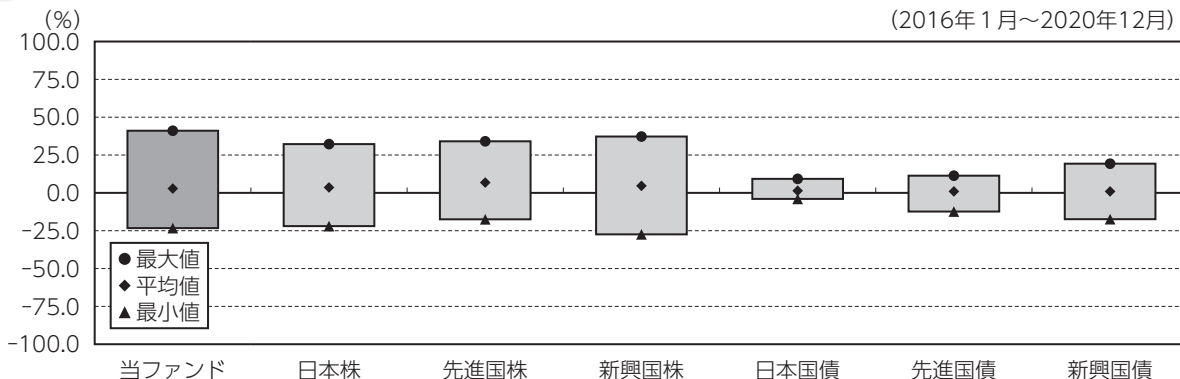


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	約6年5カ月間（2014年8月19日～2021年1月27日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ. ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》の受益証券 ロ. ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンドの受益証券 ハ. ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》	ブラジル・リアル建てのブラジル国債
	ダイワ・オーストラリア小型株式マザーファンド	オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
ベビーファンドの運用方法	<p>①主として、マザーファンドを通じて、ブラジル・リアル建てのブラジル国債（※1）およびオーストラリアの小型株式等（※2）に投資することにより、信託財産の成長をめざします。また、マザーファンドを通じて、ニュージーランドの小型株式等（※2）にも投資します。</p> <p>※1 投資環境によっては、ダイワ・ブラジル国債マザーファンド《2021-01》に投資せず、直接、ブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資することがあります。</p> <p>※2 小型株式等とは、アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドの独自の分類による小型の株式等をさします。なお、株式等には、DR（預託証券）、リート（不動産投資信託証券）を含みます。</p> <p>②設定当初の債券と株式等への投資比率はおおむね6：4とします。その後、為替や株価の値動き等により投資比率は変化します。</p> <p>③ブラジル国債への投資にあたっては、償還日が当ファンドの信託期間終了日に近い銘柄を中心とします。</p> <p>④小型株式等への投資にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 小型株式等の中から、流動性、信用リスク等を勘案し、投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄の中から、経営戦略、ビジネス展望、財務体質等を考慮し、組入候補銘柄を選定します。</p> <p>ハ. 組入候補銘柄の中から、PERやPBR等のバリュエーション指標を、同一セクターの国内外の銘柄と比較することで、割安度を判断し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>ニ. アパディーン・スタンダード・インベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>⑤上記①～④にかかわらず、基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。以下⑤において同じ。）が一度でも15,000円を超えた場合、わが国の短期金融商品等による安定運用に順次切替えを行ない、ファンド全体が安定運用に入った後、繰上償還します。ただし、基準価額が15,000円を超えてから満期償還日までの期間が短い場合、繰上償還を行ないません。</p> <p>⑥為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	41.1	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
平均値	2.8	3.6	6.8	4.6	1.4	1.0	1.0
最小値	△23.3	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

### 純資産等

項 目	償 還 時
	2021年1月27日
純資産総額	1,816,878,087円
受益権総口数	1,714,269,997口
1万口当り基準価額	10,598円55銭

\* 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は893,886,455円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。